

# 平成 25 年度 事業報告書

(平成 25 年 4 月 1 日～12 月 31 日迄)

公益社団法人 亜細亜美術協会

## 1. 美術展覧会の開催

### 1) 事業内容

・美術展覧会の国際公募を開催し、美術の普及、芸術の継承、技能、技術に優れた作品の顕彰を行った。

#### ◆展覧会名 第49回国際公募 亜現展(亜細亜現代美術展)

- ・会 期：平成25年5月22日～5月30日
- ・会 場：東京都美術館（東京都台東区上野8-36）
- ・入場者数：4,520名

### 2) 出品対象範囲

・国内、海外18歳以上、海外及び国内在住外国人、学生等は出品料諸経費は、半額としてより幅広い活動を可能としている。

### 3) 公募出品者数

			出品人数	出品点数	入選・展示数	不陳列数
一般	国内	絵画	15	24	23	1
		彫刻	4	6	6	0
		工芸	31	37	35	2
	韓国	21	21	21	0	
	ミャンマー	2	2	2	0	
国内同人	絵画		80	111	109	2
		(中国)	(3)	(3)	(3)	(0)
	彫刻	3	4	4	0	
	工芸	25	39	39	0	
招待作家			2	2	2	0
合計			183	246	241	5

#### 4) 募集方法

- ・ポスター、DM、ホームページ、雑誌、美術新聞、会員による紹介等

#### 5) 表彰等の選考方法（審査基準による）

- ・審査委員長（理事長）板越文雄

会 員	理 事	総 合 審 査 員
<p>【絵画】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・湯澤 幸子</li><li>・加藤 貴代美</li><li>・藪 文雄</li></ul> <p>【彫刻】</p> <p>—————</p> <p>【工芸】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・菅原 静子</li><li>・長瀬 登</li></ul>	<p>《名誉理事》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大森 弘</li><li>・馬場 忍</li><li>・金 登美</li></ul> <p>【絵画】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・羽山 清太郎</li><li>・本田 軍司</li><li>・吉野 廣直</li><li>・八田 祐加子</li><li>・宇佐美 外行</li><li>・大波 久夫</li><li>・田添 等揚</li></ul> <p>【彫刻】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・遠山 正</li></ul> <p>【工芸】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・池上 栄一</li><li>・金森 弘山人</li></ul>	<p>外部</p> <p>《美術評論家》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・林 紀一郎</li><li>・安井 収蔵</li><li>・ワシオトシヒコ</li></ul>

#### 6) 審査員選出基準

- ・作家活動において指導的立場にある者として公正・公平なる審査に責任を果たせる者を選出した。

7) 第49回国際公募 亜現展(亜細亜現代美術)受賞者

賞名	氏名	賞名	氏名
亜細亜大賞(グランプリ)	呂 忠平	文部科学大臣賞	佐藤 恵子
理事長賞	暖水 英美	東京都知事賞	阿部 軍吉
北村西望賞	安 知華子	中華人民共和国駐日本国大使館賞	高田 哲雄
亜細亜美術協会賞	太田 奈江	損保ジャパン美術財団賞	羽田 武彦
亜細亜美術協会賞	深山 由紀子	上海市对外文化交流協会賞	唐澤 敬子
亜細亜美術協会国際賞	權 惠英	南京市博物館賞	辻内 佐和子
亜細亜美術協会国際賞	小林 茂章	南京市美術家協会賞	佐藤 葉子
亜細亜美術協会優秀賞	朴 美淑	南京市美術家協会賞	高長 和子
亜細亜美術協会優秀賞	荒井 さつき	蘇州市美術家協会賞	松井 嘉山
亜細亜美術協会優秀賞	美ノ邊 潔	蘇州市美術家協会賞	池上 美栄子
亜細亜美術協会優秀賞	木本 祝雄	韓国專業美術家協会賞	福岡 美智子
亜細亜美術協会優秀賞	笹岡 敏子	韓国美術世界賞	早川 他千子
新人大賞	岡 幸雄	産経新聞社賞	佐武 朝子
新人大賞	森下 慶子	産経新聞社賞	村井 利枝子
新人賞	三木 京子	産経新聞社賞	上田 一信
新人賞	二上 志津江	平和堂貿易株式会社賞	坂本 弘道
秀作賞	廉 美善	ホルベイン工業賞	瀧 良久
秀作賞	羽室 陽森	クサカベ賞	高田 修男
秀作賞	石井 経子	マツダ賞	田口 幸子
秀作賞	中村 淑江		
秀作賞	藤田 麗子		
奨励賞	許 成欣		
奨励賞	佐藤 靖之		
奨励賞	加藤 かつ子		
奨励賞	石川 恵子		
奨励賞	根岸 宏子		

## 8) 小作品展開催 第7回亜細亜アート展

- ・主 催 亜細亜美術協会
- ・会 期 平成 25 年 5 月 22 日～5 月 30 日(第 49 回亜現展と同時展示)
- ・会 場 東京都美術館 ロビー階4室
- ・対象出品者 国内・海外 18 歳以上
- ・作品の大きさ 小作品展として F6 号～F10 号までの平面作品のみ
- ・出 品 点 数 一人 1 点に限定 (亜細亜美術協会同人は出品不可)
- ・出品者数 34 名 (中国 1 名)

### ・亜細亜アート展受賞者

秀 作 賞	スポンサー賞
<b>【絵画】</b> ・佐多洋子 ・三宅未夏 ・中村佳恵 ・劉毅 <b>【工芸】</b> ・中井たかお	《ホルベイン画材賞》 ・田中宏 《クサカベ賞》 ・常泉節子 《マツダ賞》 ・久野光政

## 2. 美術に関する講演会、講習会の開催

- ・各部評論家による最近の芸術、美術傾向について

講 演 会	
日 時	平成 25 年 5 月 22 日 12 : 30～14 : 00
場 所	上野東天紅 ・懇親会前に講演を行い終了後懇親会会場の設定をする。
講演内容	・受賞作品の講評 ・最近の絵画における傾向について
講 師	林 紀一郎 (美術評論家)
参加人員 104 名	招待者 31 名 ・中国大使館 文化担当 1 名 ・韓国招待・出品作家 13 名 ・賞券 <sup>ス</sup> ンサー 6 名 ・美術評論家 4 名 ・美術新聞、美術雑誌社 7 名
	73 名 ・理事 13 名 ・会員 48 名 ・一般 12 名

- ・ 工芸部門より講師を選出し、古い陶磁器を参考にしながら説明や漆技法の実演を通しわかり易く解説をした。

<b>講 演 会</b>	
日 時	平成 25 年 5 月 23 日 13 : 30～15 : 00
場 所	東京都美術館 スタジオ
講演内容	《日本のやきもの》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の陶磁器の歴史</li> <li>・ 陶磁器の構成</li> <li>・ 陶磁器の分類</li> <li>・ 原料について</li> <li>・ 陶磁器の製造工程</li> </ul> 作成資料と製造見本により説明
講 師	池上 栄一 (当会 会長)
参加人員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当会 理事 4 名</li> <li>・ 会員 14 名</li> <li>・ 一般参加者 15 名 計 33 名</li> </ul>

<b>講 習 会</b>	
日 時	平成 25 年 5 月 23 日 15 : 00～16 : 30
場 所	東京都美術館 スタジオ
講演内容	《漆の技・沈金技法について》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漆器の装飾技法のひとつ。漆塗面にモヨウを線彫りし、その刻み目に金箔を埋めた技法について実演と参加者も製作を試み、技法の特徴を実感した。</li> </ul>
講 師	阿部 軍吉 (当会 監事)
参加人員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当会 理事 4 名</li> <li>・ 会員 14 名</li> <li>・ 一般参加者 15 名 計 33 名</li> </ul>

### 3. 会誌及び美術に関する図書の発行

- ・根幹を成す美術展覧会の目的達成に関連する事業計画の一環として下記印刷物の発行を行った。

	種 別	大 き さ	頁 数	部 数	備 考
図 録	第 49 回 亜 現 展 (第 8 回 亜 細 亜 アー ト 展 は 同 図 録 内 4 頁 使 用)	A4 判 変 形 型	88	1,000	前頁カラー 配布先 同人及び美術関連 財源 ・ 入選者全員より徴収 ・ 学生外国人 5,000 円 ・ 一般 10,000 円 ・ 会員 20,000 円 ・ 理事 30,000 円
目 録	第 49 回 亜 現 展	B5 判 縦 型	8	2,000	モノクロ
	第 8 回 亜 細 亜 アー ト 展	B5 判 縦 型	2	2,000	モノクロ
会 誌	協会ニュース No1	A4 判	8	250	モノクロ

以上